

市議会だより さつて



市議会常任委員会視察(令和6年7月16日～17日)

三重県桑名市(地域公共交通・桑名福祉ヴィレッジ)、
津市(道の駅の運営ノウハウ)にて行政視察を行いました。

9月定例会のおもなことから

- ・ 令和6年9月定例会議案 2～5ページ
- ・ 各常任委員会での審査 6～8ページ
- ・ 市政に対する一般質問等 9～15ページ
- ・ 議決結果の一覧 16ページ

No.112
2024年
11月

幸手市の魅力や出来事、災害時の情報を発信します。幸手市公式 LINE 登録



令和5年度一般会計決算を認定

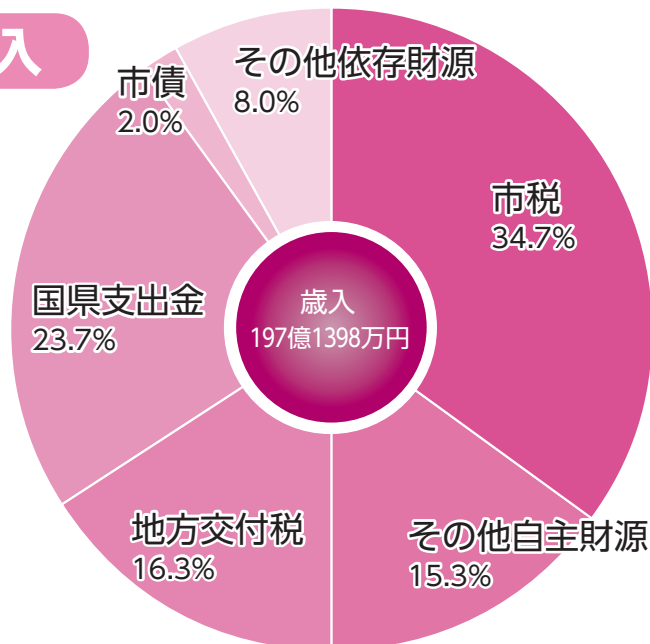
歳入総額 **197億1,398万円**
(前年度比△1.28%)

歳出総額 **185億6,193万円**
(前年度比+1.20%)

実質収支※ **10億2,599万円**
(令和4年度15億78万円)

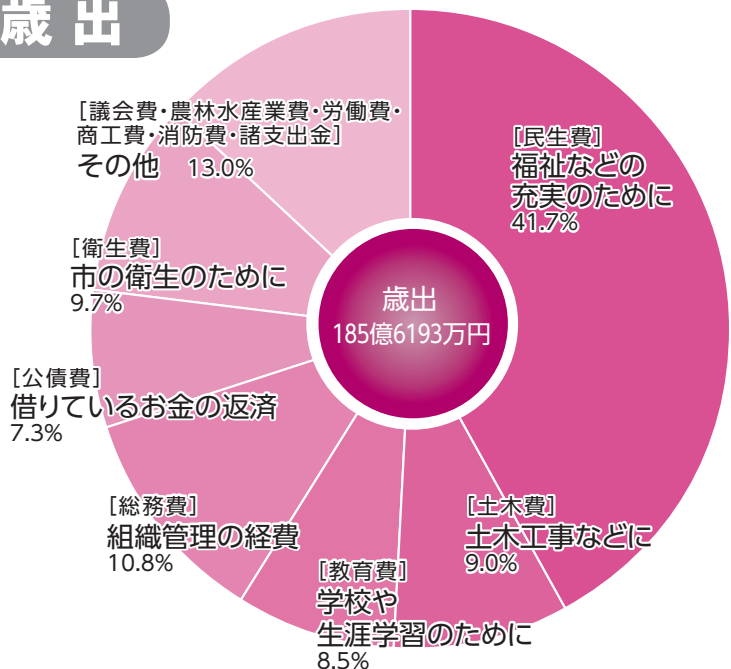
※翌年度へ繰り越す財源を差し引いたもの

歳入



新型コロナウイルス感染症対応及び物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
充当対象事業 7億3032万円

歳出



9月定例会

令和6年第3回
幸手市議会定例会

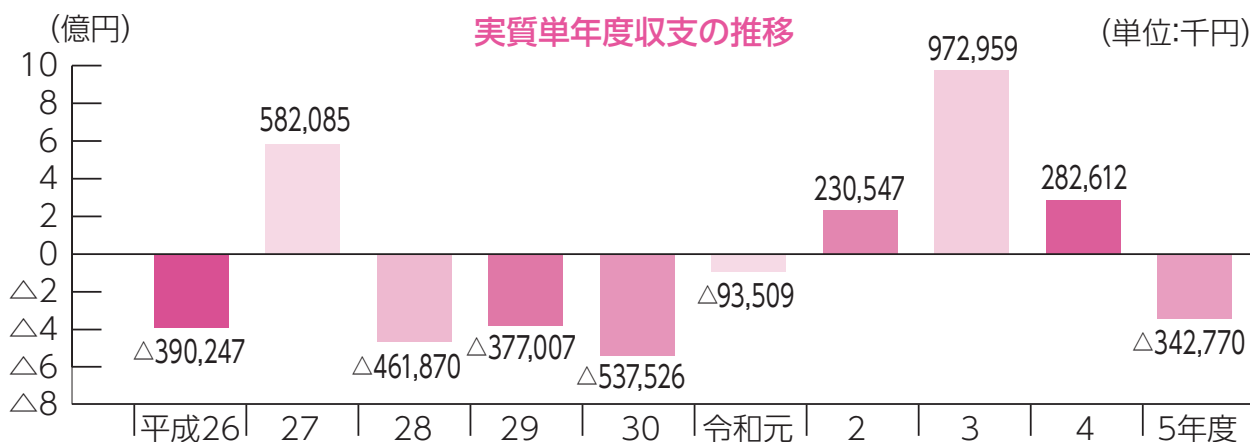
令和6年9月定例会は、9月2日から9月30日まで開かれました。市長からの提出議案は27件
令和5年度一般会計・特別会計等決算の認定8件、水道・下水道事業会計未処分利益剰余金の処分2件
条例、規約の改正2件、市道路線認定・変更・廃止3件、令和6年度一般会計・特別会計補正予算7件、
人事案件2件は、審議の結果、いずれも原案通り認定、可決されました。
請願3号「恐喝・傷害事件の調査特別委員会を設け、事実解明を求める請願」については不採択となりました。

〇市の財政一般会計を、馴染みのある家計簿の科目に置き換えるとこんな感じになります。

	千円 前年度比		千円 前年度比
給与(市税)	6,834,912 ➡	食費(人件費)	2,990,309 ➡
副業収入(諸収入)	2,193,005 ➡	医療費(扶助費)	4,009,416 ➡
貯金引出(繰入金)	765,491 ➡	光熱費日用品(物件費等)	3,124,797 ➡
昨年の繰越(繰越金)	1,627,650 ➡	子供へ仕送り(繰出金等)	4,800,721 ➡
家族の収入(地方交付税)	3,209,745 ➡	リフォーム(工事請負費等)	786,766 ➡
親から援助(国・県支出金)	4,666,591 ➡	貯金など(積立金貸付金)	1,063,742 ➡
銀行から借入(市債)	398,300 ➡	ローン返済(公債費)	1,786,179 ➡
友人からご祝儀(寄附金)	18,292 ➡		
合計	19,713,986	合計	18,561,931

➡：前後3%未満

〇実質単年度収支の推移（歳入、歳出には基金への積み立てや取り崩し、県債の繰り上げ償還等がふくまれているので、そういった収支を調整する要素を除いた収支を実質単年度収支といいます。1か月の家計でいえば、定期貯金の積み立てや解約、ローンの繰上げ償還といった資産の増減による収支は考慮せず、給料と生活費のつりあいで家計の状況を見ることです。）



〇市の会計は、一般会計の他に特定の歳入を特定の歳出に充てる特別会計があります。また、水道事業は「独立採算制」で運営され、収益的収支で得た資金で水道施設の整備を行っています。

令和5年度特別会計の決算状況

(単位：円)

	歳入	歳出	実質収支額
国民健康保険特別会計	5,450,304,897	5,407,008,190	43,296,707
後期高齢者医療特別会計	837,389,138	831,783,237	5,605,901
介護保険特別会計	4,519,504,645	4,218,857,770	300,646,875
農業集落排水事業特別会計	49,077,200	44,558,496	4,518,704
幸手沢西口土地区画整理事業特別会計	378,308,004	346,969,164	31,338,840
水道事業会計(収益的収支)	1,117,243,204	1,014,945,591	102,297,613
公共下水道事業会計(収益的収支)	705,298,502	661,202,745	44,095,757

令和6年度9月定例会
本会議議案質疑内容

令和5年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について

質疑

埼葛人権を考えるつどい負担金の支出負担行為決議書には、負担金の金額の妥当性を示すものはありますか。

答弁

調書を見る限り、当初予算に計上されたものをその事業目的に沿って支出されていますので、これを妥当と監査では判断しております。

質疑

負担金の使い道を説明するような書類はありませんでした。それから、金額の妥当性を示すものもありませんでした。報告もないというようなことなので、具体的にどのようなように使われたかは確認していないという。

要は、請求された金額を請求されたとおりに請求された方へ支払った、それで監査は適切であるというような理解でよろしいでしょうか。

答弁

負担金は会費的なものであり、調書に基づいて審査しておりますので、その請求にあった金額で支払ったことについて特別問題はありません。

質疑

特別会計から一般会計への繰入金の合計は9314万6千円となっております。それぞれの特別会計ごとの算出根拠とそれぞれの特別会計事業の財源内訳について。

答弁

9314万6千円については、令和5年度一般会計補正予算（第4号）において計上した特別会計繰入金ですが、各特別会計の令和4年度の実質収支のうち一般会計繰入金の残高の合計1億9021万6154円と一般会計の当初予算に計上した特別会計繰入金の合計1606万9千円を差し引いて、補正予算額と

して計上したものです。なお、この一般会計繰入金については、一般財源であるため、財源内訳についてはありませんが、予算・決算時にお示ししました各繰入科目、金額等については資料のとおりです。

賛成討論

四本 奈緒美

令和5年度幸手市一般会計歳入歳出決算において実施された施策を見ますと、幸手市公式LINEが開始され、市の最新情報が発信された事を評価します。

第6次総合振興計画後期基本計画を、SDGsの理念と連動させた事を評価します。

人権推進事業において「幸手市パートナーシップ宣誓制度」が開始されました。全ての人の人権や性の多様性を尊重した施策であると大いに評価します。

2回のハッピーエール応援券発行事業の実施は、市民生活や地域経済を支援するものであった事を評価します。

更なる市民の健康と安心安全な暮らしを守る施策の実施を求め、公明党は賛成討論とします。

反対討論

坂本 達夫

今年3月、新聞によると埼玉東部12市町と民間団体が主催する「埼葛人権を考えるつどい」において、2013年～2022年の10年間に約1600万円の不明金があると久喜市の調査で判明。2023年秋、越谷市にて「同つどい」が開催され、幸手市から職員が参加し、負担金を支出した。

私は、監査委員に対し負担金はどう使われたか。また、使用道の報告はあったか尋ねました。

監査委員は負担金の支出は、法令に従い、適正な支出との答弁でした。市民から頂いた税がどう使われたか、監査委員は明らかにすべきですが、それがなされていないので、私は決算の認定に反対します。

人事案件

教育委員会委員

高島 勝也 氏
藤沼 寛次 氏

を任命することに同意しました。

恐喝・傷害事件の 調査特別委員会を設け、 事実解明を求める請願書

請願理由

昨年、12月議会の本会議場で藤沼議員が市職員に対し、暴力を振り全治3週間のケガを負わせたとのニュースが報じられました。

その後、藤沼議員は幸手市から告発され、幸手警察の取り調べを受けました。6月には地方検察庁に書類送検され、事件は新たな段階に移行したと聞いています。

しかし、藤沼議員は傷害事件を認めていません。それどころか、被害者にお詫びもしていないし、市長に対し質問状まで送っているとは驚きです。議員として許されません。

これらの理由から、次の4点について幸手市議会に請願します。

記

- 1 市職員に対し「人ひとり100万出せば殺してくれる人がいるのを知っているか」との藤沼議員の発言の事実を解明し、傷害・恐喝事件の全貌を市民に説明すること
- 2 藤沼議員は傷害事件を認めていない。このことに対し、議会として調査を行い、事実を解明すること
- 3 議会として調査特別委員会をつくり、藤沼議員の責任（処罰）を明らかにすること
- 4 今年度行われる議会報告会で、これらのことを市民に報告すること

（請願第3号） 恐喝・傷害事件の調査 特別委員会を設け、事 実解明を求める請願書

賛成討論

大平 泰二

昨年の12月議会の「全ての暴力とハラスメントを防止する決議」議会決議は議長を除く13人が賛成で可決。また、決議案第7号、藤沼議員の議員辞職勧告決議には2人が退席、3人が反対、8人が賛成で可決したものです。

そして今回の請願3号の4項目の要望は、これらの決議と矛盾しないものであり、反対する議員はその理由を明らかにすべきです。

また、藤沼議員（被疑者）は幸手警察から地検に書類送検され、現在取り調べが行われています。そのうえ、被害者に対しては謝罪もしていません。

議長からの議会出席自粛要請にも応えず、議会に対してもお詫びの言葉もなく、反省の態度は見られません。

反対討論

木村 治夫

請願趣旨において「幸手市から告発された」とあるが、この件を幸手市が告発した事実はなく、事実誤認です。また、新聞報道で見る限り、本件には「恐喝」という容疑はかかっています。

この件には、私たち市議会議員も捜査に協力し、事実の解明を望んでいるが、現時点では多くのことが明らかになっておらず、議会が市民に説明することは不可能です。現在、さいたま地検

が真相究明に取り組んでおり、これに勝る事実の解明はありません。また、議会報告会は、市民から政策提案をいただくために、実施してきたもので、事業の趣旨を逸脱した請願には賛同することはできません。

総務常任委員会

令和5年度幸手市一般会計 歳入歳出決算の認定 (議案第65号)

問 ふるさと納税寄附金1579万6千円とあるが、その使途について、また、他市においては、子育て支援に使われているなど、ホームページへの掲載が見受けられます。こうした事例を一例でも二例でも公表することと、ふるさと納税をする方も増えていくのではないかと思いますがいかがか。

答 ふるさと納税寄附金については、その使途についての意向がなければ、市の全体の事業で使わせていただくことになり、その使い先の掲載はしていません。ご意見として頂いたように、ふるさと納税を推進していく上では、ご自身が寄附をしたものが、こういったものに使われているのか、というのを示すことができれば、推進へとつながっていくものと思われるので、今後の検討とさせていただきます。

問 しあわせ家族ウエルカム補助金380万円の内容はどのようなものか。

答 この補助金は、若年層の定住促進を図る観点から、40歳未満の若年夫婦が市内に転入し、市内において初めて住宅を取得する際に生じる費用の一部を補助するものです。令和5年度については、合計で20件の補助をしているが、その内の18件が満額となる20万円の補助をしており、残りの2件は12万9千円と7万1千円の補助をしている。

令和6年度幸手市一般会計 補正予算(第4号) (議案第82号)

問 固定資産税4千万円の増額理由について伺う。

答 当初予算では、納税義務者数を2万459人、調定額として30億2244万7200円、徴収率を前後3年の平均99・38%として、30億370万円を

予算編成した。その後、5月に当初課税を行い、納税義務者数を2万555人、調定額として30億6269万7千円、これに徴収率99・38%を乗じて、30億4370万円を予算額とした。この差引分の4千万円を補正予算として計上したところである。

増額の要因として、家屋については、当初予算で評価替えに伴う経年減少を見込んでいたが、予想より少なく、評価額の据置きや新築家屋の評価額が見込みを上回ったこと、また、償却資産については、当初、景気の動向を考慮して計上した額を上回ったことによるものである。

問 ふるさと納税事業業務委託料1615万9千円の増額理由について伺う。

答 ふるさと納税の寄附金が増えている状況のなかで、今回、歳入においても、ふるさと納税寄附金の増額補正を計上している。寄附の件数が増えることで、委託業者の1件あたりの費用が掛かるため、委託料を増額補正としたものである。

問 学校教育施設整備基金積

立金の1億円は、統廃合に関するものと説明を受けているが、その内容について伺う。

答 今後の再編方針として、さかえ小学校を上高野小学校に統合し、八代小学校、権現堂川小学校、吉田小学校の3校を東中学校に統合することで、校舎の増築等やエアコンの設置など多額の経費が見込まれることから、積立を行うものである。

恐喝傷害事件の調査特別 委員会を設け事実解明を 求める請願書(請願第3号)

問 請願趣旨に「藤沼議員は幸手市から告発された」と書かれているが、藤沼議員は幸手市から告発されたか。また、これは事実とは違うのではないか。

答 幸手市の職員から告発されたという事である。告発の経緯を見れば、告発するという市の了承を取って幸手警察署に行っているわけであるから、広い意味で、幸手市が告発を了承していたという点で言えば、幸手市からと言っても間違いではないかと考えている。(請願書紹介議員)

文教厚生常任委員会

令和5年度幸手市一般会計 歳入歳出決算の認定 (議案第65号)

問 緊急通報受付業務委託料の設置件数と緊急通報された件数は。

答 設置台数については、令和6年3月末時点で45件であり、通報された件数については15件である。

問 香日向汚水処理施設補修工事は今後の下水道への接続に向けた工事も含まれているのか。

答 下水道への接続に向けた工事は含まれていない。主に不具合や定期点検といった工事になる。

問 想定浸水深標示業務委託料は、外水、または内水のどちらを想定しているのか。

答 外水を想定しており、利根川決壊を想定した形での浸水標示をしているものである。

問 給食用小荷物専用昇降機定

期点検業務委託料とは。

答 全小学校に1台ずつ設置されており、1台当たりの単価は4580円となる。

令和5年度幸手市介護保険 特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第68号)

問 保険給付費の福祉用具給付費及び住宅改修給付費は業者から申請書が提出されるが、その金額の適正さはどのように判断されているのか。

答 金額の適正さについては、提出された見積書と添付された理由書を介護福祉課で確認し、国の指針で示しているハンドブックに基づいて決定をしている。

幸手市国民健康保険条例の 一部を改正する条例 (議案第73号)

問 今回の条例を一部改正する議案提案理由とは。

答 法律の改正に伴い、令和6年12月2日以降、新規の被保険者証が発行されなくなる。その後、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されたマイナ保険証、あるいは資格確認証をこれまでの被保険者証の代わりに使うこととなる。これに併せて、この条例上で過料が設定されているが、短期被保険者証自体が廃止されるため、返還を求められるような事態もなくなる。今回の条例では、そのような起こり得ない状況を削除するというものである。

幸手市家庭的保育事業等の 設備及び運営に関する基準 を定める条例の一部を改正 する条例 (議案第74号)

問 条例改正にて改正前が3歳児から4歳児に対して20人になるが、改正後は15人に1人になるが、幸手市の運営している保育所もこの対象になるのか。

答 幸手市が運営している保育所もこの条例の対象になる。

令和6年度幸手市一般会計 補正予算(第4号) (議案第82号)

問 交通安全対策費の路面標示設置工事300万円の工事内容は。

答 今後の執行にあたり予算の不足が見込まれる。今回の内容については、外側線の標記やグリーンベルトの敷設といったものである。

問 在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金72万円は当初予算と合せていくらになるか、また増額理由は。

答 今回の補正額と合わせると、合計144万円になる。この制度は在宅で介護をするご家族の精神的、身体的な負担を軽減することを目的とするものであり、今後申請数が増えたときに不足が生じないよう、必要な額を予算計上したものである。

問 香日向汚水処理施設補修工事の内容とは。

答 中継ポンプの更新工事が314万6千円、汚水揚水ポンプの配管更新工事が49万5千円である。

建設経済常任委員会

令和5年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について (議案第65号)

問 戦略的作物推進事業補助金の内容について伺う。

答 需要のある作物や付加価値の高い作物を生産する農家に対して市から補助金を出しているものである。出しているものとしては、加工用米、飼料用米、米粉用米が1袋当たり500円以内、麦・大豆・飼料作物が10アール当たり1千円以内、特別栽培米が10アール当たり1千円以内というものである。

令和5年度幸手市水道事業会計決算の認定について (議案第71号)

問 幸手市の令和5年度の配水をして有収に至らなかったロスはどれぐらいなのか伺う。

答 消火栓で使ったもの、ある

いは配水管がある。

配水管は定期的に水を使用し、掃除しなければならぬ。掃除を行うと水が濁ってしまうため、その濁った水は市民にはお届けできない。このため、途中にドレンという排水口が設けられており、そこから濁水を排出する仕組みがある。

したがって、漏水と認定されるような無効水量が32万立米程度、金額にして4850万円程度になるが、毎年2つの大きな漏水調査を実施している。



市道路線の変更について (議案第79号)

問 44号線の場合は、宅地の一部区間を認定していたが、終点を短くして市道とするという認識で受け止めているが、こうい

う変更が必要になった理由、境界線はどのようにして判断されるのか伺う。

答 道路台帳を適正なものにするということで調査していたところ、こちらの部分が、幸手市の土地が今回の矢印のところまでであり、その先は個人の敷地である。

正確には宅地の敷地までが市道ですので、終点は正式な幸手市の土地のところまでに修正させていただくというものである。

市道路線の廃止について (議案第80号)

問 一部は私道として認定され、一部は市道として認定されるということになると、そういう判断というのがどういう基準でなされたのか伺う。

答 こういった道路を認定したのは、昭和56年に道路台帳を作りました。今回こういうものが見つかりましたので、それは認定しておくべきものではない。本来の形に私道ということですので認定は外させていただき、

今後こういうものが見つかれば、その都度修正はしていきたいと思っています。



令和6年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (議案第86号)

問 繰入金が減になったので、事業の執行に影響を及ぼす。そこを賄うために一般会計から繰入れるということか伺う。

答 社会資本整備総合交付金の内示率が低かったということ、事業を進捗していく上で、先延ばしできるものについては、区画道路を500万円減額させていただき、先送りできるものは先送りしたが、残りについては、どうしても今年進捗を行いたいということで、その補填分を一般会計繰入金で補填させていただいたものである。

市政に対する

一般質問

今定例会では、12人の議員が9月3日、4日、5日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

芦葉弘志議員

- 公民連携について
- 冷水機について
- 食品ロス削減について

坂本達夫議員

- 「人権啓発推進埼葛実行委員会」への支出に対する監査委員の監査について
- 幸手駅西口の開発について
- 全国新酒鑑評会での金賞受賞について
- 乗合型デマンドタクシーについて

宮澤大地議員

- 幸手市内の防犯対策について
- 管理不全の空地対策について

小林英雄議員

- 市長が代表者を務めている組織・団体について
- 総合政策部付の事業推進担当設置について

高野優一議員

- ヤード規制について
- 乗合型デマンドタクシーについて
- 公共施設のエアコン維持管理について

大平泰二議員

- 幸手市のカメ虫発生と防虫対策について
- 市内移動販売について
- 排水機場の移管について
- 後期高齢者保険証について

松田雅代議員

- 幸手市庁舎整備基本構想について
- GIGAスクール構想で目指す教育について
- 社会教育団体の後継者問題について

小泉圭司議員

- 公共施設の在り方について
- 地域公共交通計画について
- 幸手市の孤独孤立解消に向けた取り組みについて

青木章議員

- 倉松川、雁橋の対応について
- 内水対策について
- 危機管理の状況について
- 有機フッ素化合物（PFAS）について

四本奈緒美議員

- 性被害から子どもを守る為の教育について
- 災害時の保健衛生環境の整備について
- 「マイナ保険証」の普及と利用促進について

本田謡子議員

- 南海トラフ地震臨時情報について
- 災害用備蓄品について
- 幸手市避難所開設訓練業務委託について
- 公共施設における自動販売機設置について
- 副市長人事について

木村治夫議員

- 市コミュニティ活動の支援について
- 地域農業の推進と市農業の強化について

9月定例会

傍聴者		
36人の方が傍聴されました。		
議会インターネット中継のアクセス件数 インターネットを利用した議会中継 (ライブ及び録画)を行っております。		
7月 233件	8月 82件	9月 2,263件
の方が視聴されました。		

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

9月定例会 会期日程

9月2日（本会議）	・ 開会
・ 会期の決定・報告事項	
・ 市長提出議案一括上程、提案理由説明	
9月3日・4日・5日（本会議）	・ 市政に対する一般質問
9月11日（本会議）	・ 議案に対する質疑
・ 議案の委員会付託	
9月12日・13日（委員会）	・ 文教厚生常任委員会
9月17日・18日（委員会）	・ 総務常任委員会
9月19日・20日（委員会）	・ 建設経済常任委員会
9月30日（本会議）	・ 委員長報告、質疑、討論、採決
・ 閉会	

幸手市における公民連携



芦葉弘志議員

Q

他市では、民間事業者と市との連携についての相談等を一元的に受け付ける公民連携総合窓口を設置しているところもあり、市と民間で総合的に発展するように積極的に取りくんでいる自治体が多い。
①吉田幼稚園跡地について民間事業者との最新の現状を伺う。
②今後統廃合により、小学校4

A

校が廃校予定だが、それぞれの有効活用について民間事業者活用も含めて市の考えを伺う。③幸手市における、民間事業者との連携実績、および今後の展望について伺う。
①優先交渉権者の民間事業者からの提案は、地域の活性化に繋がるものと考えており、売却に向けた調整を進めている。今後も、より多くの皆様に御理解いただけるよう努

(総合政策部長)

幸手駅西口仮設駐輪場の今後の整備計画は



坂本達夫議員

Q

幸手駅西口に仮設駐輪場がある。この駐輪場は無料だが問題がある。①地面が砂利敷きで不安定な上、敷地全体に傾斜があり、転倒の危険がある。②一台の自転車転倒すると将棋倒しとなる。③駐輪スペースが少ない。④屋根がない。

A

幸手駅西口に仮設駐輪場がある。屋根付き、地面がコンクリート敷で、立派な駐輪場である。料金は月額500円である。
西口仮設駐輪場は、このままでもいいと市は考えているのか。
駅西口付近には、実際の用地もなく、現在のところ、駐輪場の設置予定はないところである。

また、現在、駅東口には民間

(市民生活部長)

管理不全の空地対策について



宮澤大地議員

Q

「幸手市空家対策計画」策定のため、本年度は空家の実態調査を行っています。しかし今後のまちづくりにおいて、空家だけでなく空地対策にも力をいれていかなければなりません。

本年6月に国土交通省は「土地基本方針」の変更を行っています。その中で改正空家法と

A

一体的に空地対策を推進していくことと記されています。これを受け、幸手市として空地に対してどのように取り組んでいくのかを伺います。

雑草の繁茂等、管理不全の空き地については、

現地確認・所有者等を調査し、適正に管理するよう、文書や口頭により指導・助言をしています。本年6月11日に国土交通省は「土地基本方針」の変更を行っ

ており、土地基本方針では「改正空家法による総合的な取組、空き地対策との一体的な推進」が示されています。

市では、土地基本方針を踏まえ、現在進めている空き家対策と一体的に、空き地対策を進めていきたいと考えています。

(市民生活部長)

新しく設置された事業推進担当の目的は



小林英雄議員

Q

今年度より60歳での役職定年制度となり、定年年齢が引き上げられた。この役職定年になった部長職員の経験・知識・人脈を市政に生かすため、事業推進担当を設置したと考える。幸手市内大規模プロジェクト（上高野地区の土地改良事業・ゆめファーム全農トレーニングセンター・産業団地

A

の拡張・道の駅総合整備）の4大事業を進める上で、事業推進担当が大変重要な役割を担うと考えられる。改めて、市長の事業推進担当設置目的、現時点での成果を伺う。

事業推進担当は、ゆめファーム全農、上高野の土地改良事業、産業団地の拡張、道の駅総合複合施設等の大規模プロジェクトについて、部署にとら

われず、政策的・横断的な対応ができるよう、総合政策部付けの担当としている。

成果については、企業版ふるさと納税の件数や金額が昨年度よりも増えた点が挙げられるほか、大規模プロジェクトが実現した際には、雇用や税収の増加という成果が得られるものと考えている。

(市長)

ヤード規制について



高野優一議員

Q

令和7年1月1日に埼玉県全域に（さいたま市、越谷市を除く）でいわゆる「ヤード」「スクラップヤード」「金属スクラップヤード」などと呼ばれる事業者の規制が始まり、新規施設設置には許可、既存の施設には届け出が必要となる。

規制対象が再生資源物の「金

A

市に寄せられるヤードの苦情は、県が規制対象としている金属であり、ゴム等の苦情はこれまでないことから、現状、県の条例で対応は可能であると考えている。

しかしながら、条例施行後、

条例が運用されていくなかで、ゴム等への規制の必要性が生じた場合は、県に対してゴム等も規制対象に含めるよう働きかけていく。

また、県への働きかけだけでは不足が生じるようであれば、市条例の制定を検討していく。
（市民生活部長）

中島排水機場の移管進捗状況について



大平泰二議員

Q

中島用悪水路と中川が合流となる地点に設置されている中島排水機場の移管進捗状況について、令和5年3月、市長は「スピード感をもって」と挨拶し令和5年度に協議を終わらせることになっているが、この間何回の打合せをおこなったか、また、移管の進捗状況について伺う。

A

中島用悪水路土地改良区と本市の間で実施している中島排水機場の移管に関する協議について、令和5年度は河川管理者である埼玉県を含め、3者での協議も行っている。

現在の排水施設に関する移管の進捗状況については、移管予定施設の整理に努めている段階である。

（建設経済部長）





小泉圭司議員

幸手市の孤独・孤立対策について

Q

暮らしの保健室は地域包括ケアシステム幸手モデルとして住民が住民を支え、見守り、暮らしの保健室を活用することで速やかに医療や介護につなげることが出来るという他の地域から見学に来られるほどの仕組みですが、住民でこの仕組みを知っている人はとても少なく感じます。とても

A

「地域ケア拠点 菜のはな」が運営する暮らしの保健室は、地域のサロンやコミュニティカフェ等の身近な場所、健康に関する講話や健康相談等、気軽に医療専門職に相談できる場となっており、高齢者が住み慣れた地域で安心して

暮らし続けられる大切な居場所のひとつです。
このような社会資源をより多くの市民の方にご利用いただけるよう、孤独・孤立に対する住民一人ひとりの理解や意識の醸成を図るとともに、さらなる周知徹底に努めてまいります。

(副市長)



松田雅代議員

日進月歩のICT環境に対応する教育投資の考えは

Q

市では令和4年5月に「幸手市GIGAスクールガイドライン」を作成し、目指す教育像に向け「ICT機器を文具のように活用する学習」を推進してきた。その成果はいかがか。

また、国は全国学力調査結果報告で、デジタル端末の活用度と平均正答率の間に相関ありと

A

分析する。教育現場からはICT支援員の増員やデジタル教科書の本格導入に合わせた電子黒板の配備拡充等を求める声も聞く。
時宜を得たICT機器等の整備は必至。市長の考えを伺う。

成果については、3点ある。1つ目は、ICT

環境の整備の充実により、授業等が順調に実施されていることである。2つ目は、児童生徒の

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が図られてきたことである。3つ目は、先進的な取組について市内への拡充が図られてきていることである。

教育はすべての原点である。将来を担う子供たちの教育はとても大事である。教育委員会と協力して全面的に進めていきたいと思う。

(市長)

倉松川に架かる「雁橋」存続に向けて



青木 章議員

Q

倉松川は今後、国道4号線幸手橋から東武鉄道橋までの区間、川幅を約20mに広げ、両岸の管理用道路についても4mの幅員になる予定です。水害対策だけでなく生活環境の向上も期待されます。しかし、この工事に伴い「雁橋」を廃止する方向で進めていると説明がありました。この橋は、古

A

雁橋を架け換える際の時期については、国道の幸手橋、県道さいたま幸手線の志手橋、東武鉄道沿いの市道の大日橋の架け換えをし、倉松川の両側道路が幅4mで整備された後となることから20年以

(市長)

上先になりますので、雁橋の存続・廃止の最終的な判断は先になるところです。

しかしながら、地元説明会でのご意見などを真摯に受け止めて、雁橋については存続する方向で考えてございます。

被災地支援にトイレトレーラーの導入を



四本奈緒美議員

Q

国は本年6月に防災基本計画を修正した。能登半島地震における劣悪なトイレ環境を踏まえ、指定避難所等の生活環境を確保するために、トイレトレーラー等のより良い快適なトイレの設置に努めるものと明記された。

A

移動設置型のトイレトレーラーを導入し、(二社)助けあいジャパンが推進する「災害派遣ネットワークプロジェクト」に参加し、被災地を幸手市の皆の力で支援していくべきと考えるが如何か。

(市民生活部長)

また、市内全域に渡って災害が発生した場合の運行方法とその有効性については慎重な判断が必要となる。購入及びプロジェクト参加についても、先進自治体の運行状況を確認し、導入を検討している自治体の動向を注視する。



木村治夫議員

市コミュニティ活動組織への強力な支援は

Q

生活様式の多様化する現在、市のコミュニティ活動を支えている方々の組織運営が曲がり角を迎えている。地縁組織の特徴を捉え、地域をどのように支えていき、持続可能な運営を構築するか緊喫の課題である。

価値観の多様化により、自治会加入率の低下、地域コミュニティ

A

地域の希薄化、地域活動を支える担い手不足等、「幸手市コミュニティづくり推進協議会」で、各種活動実施されている、地域課題に取り組む主体を増やし、自治意識の高揚を図る事について市長に伺う。

地域コミュニティ団体
が、変化する地域ニーズに的確に対応し、持続可能な形で活動できるよう、自治会や団体等の活動支援を今後も継続し

ていく。
加えて、先進事例等を参考にイベントや各種事業への参加を促すなどし、新たな地域コミュニティ活動の担い手の発掘、デジタル化による自治会活動の効率化等について、区長の皆さまをはじめ、市民のみなさんと一緒に考える機会を増やし、地域問題に取り組むことで、地域コミュニティの活性化に努める。
(市長)



本田謡子議員

災害用備蓄品期限切れの対応・管理・利活用は

Q

災害用備蓄品には消費期限のあるものが多い。その期限切れが生じる備蓄品の対応と管理について伺う。
また、その備蓄品の期限切れ処分ではなく、利活用について、市の考えを伺う。(例として、大人用紙おむつなら介護施設等へ、こども用紙おむつなら保育所等へ、生理用

A

品なら小中学校や高校へなど)
災害用備蓄品は購入時に、品目や、数量、保管場所、使用期限などのデータを入力し、管理を行っている。
食料品は市内小・中学校、自主防災組織、フードバンクへの提供、防災訓練時に配布している。
生活用品等は保存状況を確認し、まだ使用できると判断したものについては備蓄しており、損傷・劣化が著しいものについて

では廃棄している。
利活用については、提供先と調整しながら有効活用できるように考えていく。
(市民生活部長)



令和6年9月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 市民の幸せをつくる会…幸 自由民主党…自 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)
(幸手市長提出議案)

議案番号	議 案 名	議席番号・議員名															付 託 委 員 会	議決結果
		1 高野 優一	2 小泉 吉幸	3 宮澤 大地	4 芦葉 弘志	5 四本 泰雄	6 坂本 達夫	7 小林 英雄	8 枝保 喜八郎	9 木村 治夫	10 松田 雅代	11 小河 原和	12 本田 嗣子	13 藤沼 貢貞	14 青木 章緑	15 大平 泰二		
議案第63号	令和5年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第64号	令和5年度幸手市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第65号	令和5年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数認定
議案第66号	令和5年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第67号	令和5年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第68号	令和5年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第69号	令和5年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第70号	令和5年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成全員認定
議案第71号	令和5年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第72号	令和5年度幸手市公共下水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第73号	幸手市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第74号	幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第75号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第76号	幸手市水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第77号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第78号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第79号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第80号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第81号	令和6年度幸手市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第82号	令和6年度幸手市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第83号	令和6年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第84号	令和6年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第85号	令和6年度幸手市介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第86号	令和6年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	×	建設経済	賛成多数可決
議案第87号	令和6年度幸手市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第88号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第89号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意

(議員提出議案)

請願第3号	恐喝・傷害事件の調査特別委員会を設け、事実解明を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	退	○	×	×	×	×	欠	×	○	総務	賛成少数不採択
-------	--------------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---------

◆議会中継のご案内◆
市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開会中継（生中継）「ライブ中継（生中継）」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



◆議会傍聴のご案内◆
本会議、常任委員会、議運営委員会は原則公開しており、どなたでも傍聴することが出来ます。
傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の議会事務局までお越しいただき、傍聴申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取ってください。事前予約は不要です。
傍聴は、市議会の活動にふれることが出来る身近な方法ですので、ぜひお越しください。
【注意事項】
・傍聴席は飲食・発言・拍手等禁止です。
・携帯電話の電源は必ずお切りください。
・写真撮影、録音はしないでください。

議会広報編集委員

委員長 久保田 喜一郎
副委員長 高野 優一
委員 高野 大地
委員 宮澤 大弘
委員 小宮 治雅
委員 木村 浩和
委員 小松 原平
委員 大河 平

編集後記

暑かった夏が終わり、ほっと一息つくも、11月は暦の上では早くも立冬、小雪を迎えます。米処幸手市は9月に新米の季節を迎えましたが、今年は価格が上昇し、なかなかの“高嶺（高値）の花”です。しかし、猛暑の中、生産者の皆さんが手塩にかけて育てられた農産物を、地産地消、四季折々に味わえることは本当に有難いことであり、感謝し、秋の味覚を楽しみたいと思います。

